

iPad/iPhone 専用リノベーション現況調査アプリ

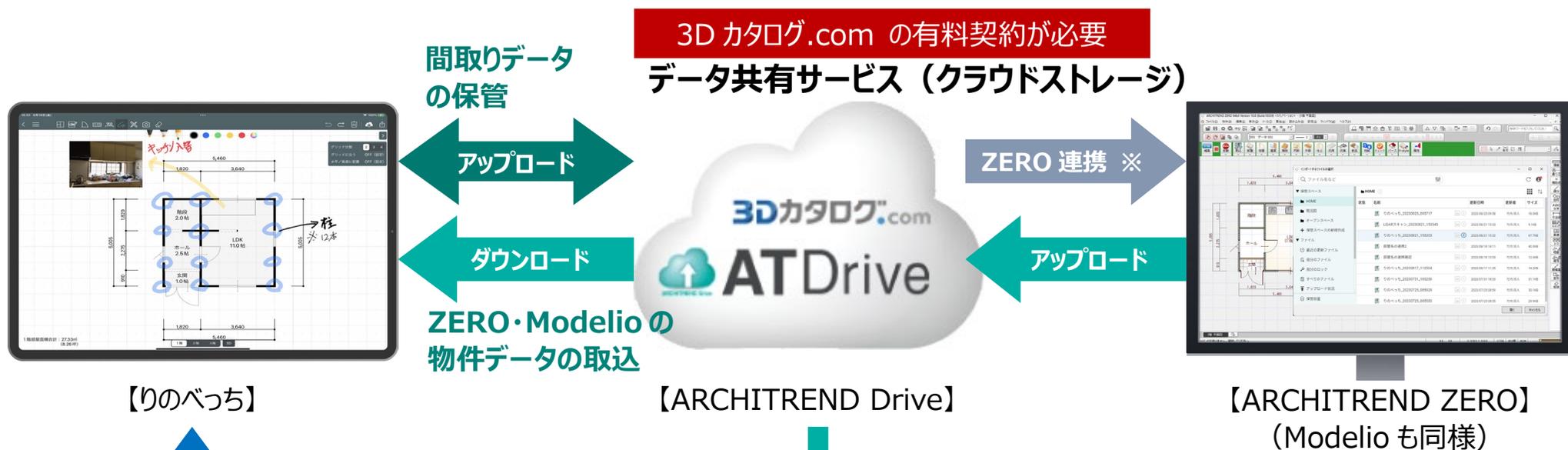
眼りのべっち

— ATDrive 連携編 —

1 データ連携フロー

『りのべっち』の間取りデータは、デバイスに3つまでしか保存できません。3Dカタログ.comの『ARCHITREND Drive』を利用することで複数のデータを扱うことができるようになります。

また、『ARCHITREND ZERO』『ARCHITREND Modelio』の物件データを『りのべっち』に取り込んで利用することも可能です。



ATDrive サイト

サイトにアクセスして、間取りデータの確認、削除等を行うことができます。

▼ 保管スペース	
HOME	状態 名前
現況図	りのべっち_20230825_095717
オープンスペース	

※ ZERO連携について

りのべっちのデータをZEROに連携するには、以下の機能等が必要になります。

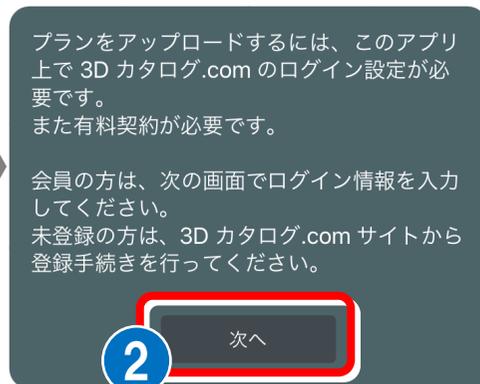
- ZERO Ver.10 (2023年10月リリース)以降、かつZEROの『リバージョン』オプションの購入が必要
- 3Dカタログ.comの有料契約が必要 (ARCHITREND Driveを介してZEROに連携)。

2 ATDrive へのアップロード・ダウンロード

ATDrive に間取りデータをアップロードする方法、ATDrive からダウンロードする方法を解説します。

※ 3D カタログ.com の有料契約が必要になります。

■ アップロードする



ID、パスワードを入力して、「ログイン」をタップ



タイトルは、全角 30 文字まで入力可能



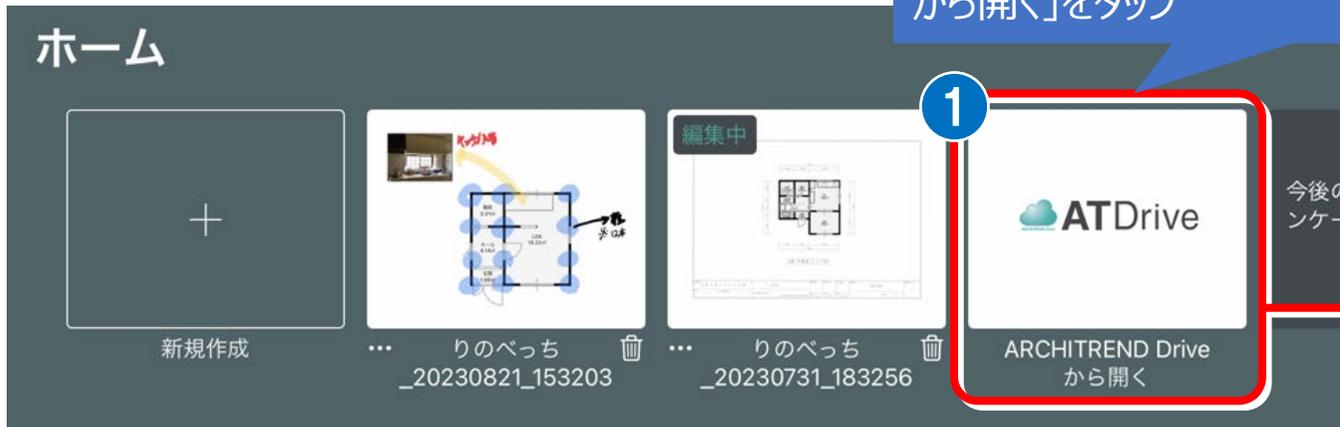
保管スペース（フォルダ）を新規作成できます。



■ ダウンロードする

ATDrive に保存されている『りのべっち』の間取りデータをダウンロードします。

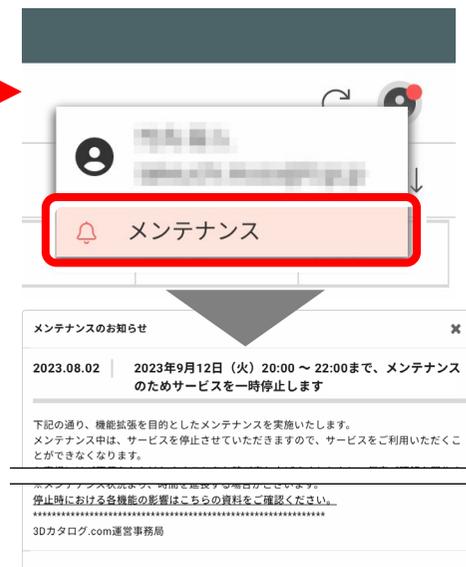
「ARCHITREND Drive から開く」をタップ



すでにデバイスに3つの間取りデータが保存されている場合に表示されます。データを削除してください。



『りのべっち』のアイコン



こちらより、サイトのメンテナンスなどの情報を確認できます。

■ 3D カタログ.com の ATDrive サイトを確認する

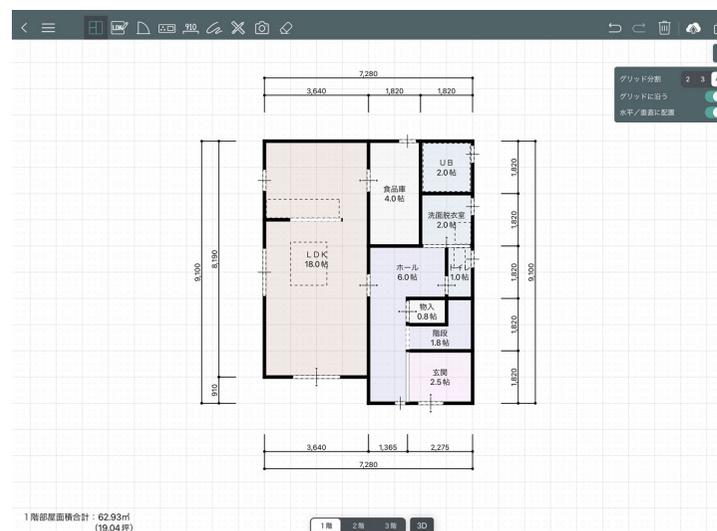
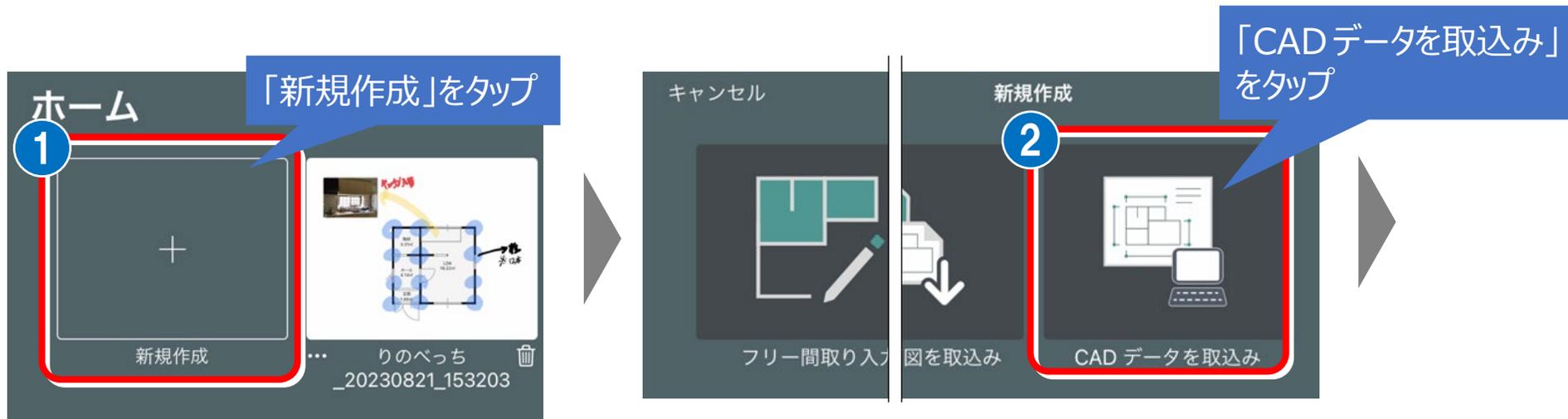
3D カタログ.com の ATDrive サイトにアクセスし、アップロードした間取りデータを確認できます。
りのべっちのデータ以外に、下図や現況写真が配置されている場合は、これらの画像ファイルもアップロードされます。



3 ZERO・Modelio の CAD データを取り込む

■ ATDrive から CAD データを取り込む

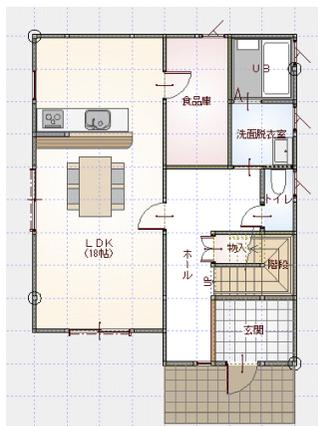
ATDrive に保存されている ZERO、Modelio のデータを、りのべっちに取り込みます。



■ CAD データから取り込まれた間取りデータについて

ZERO、Modelio のデータを、りのべっちに取り込んだ場合、CAD データに配置されていた 3D カタログ.com のメーカー建材データが、取り込んだデバイスには存在しないため、次のようにりのべっちの入力画面では点線で表示され、3D 画面で立体等が描画されない状態になります。

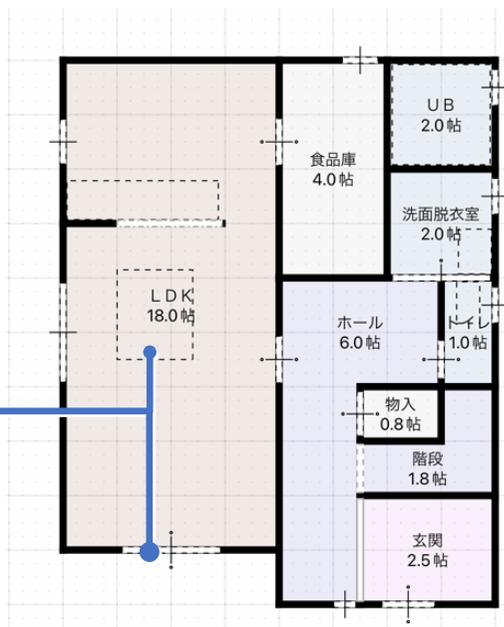
【ZERO】



建材の割り当てがあるが、デバイスに建材データが存在しない場合、「割り済み建材を復元」が表示されます。こちらで建材を割り当てます。

「割り済み建材を復元」をタップ

【りのべっち】



建材の割り当てがあるが、デバイスに建材データが存在しない場合、点線で描画されます。

